

あいさつ運動を通して児童生徒の公德心や社会性を育む

ねがい

〈目的〉

コミュニケーションの基本であるあいさつを通して、人とかかわることの喜びや大切さを実感させながら、公德心や社会性を育成することに取り組みました。

〈内容〉

つながり

● 高瀬の子どもたちをみんなで育てる「たかせクローバーの会」の開催

平成22年度から、高瀬町内の子どもたちが健やかに望ましい方向に成長してくれることを願い、所長、園長、校長が結束し、連携の会「たかせクローバーの会」が発足し、着実な歩みを進めています。三豊市教育委員会の指導方針を踏まえ、子どもたちが次の学年や学校へスムーズに進み、健全に成長するには、一貫した共通目標に向けた連携指導こそが、教育効果につながるというねらいがあります。平成23・24年度は、「あいさつ」「整理整頓」「聞く態度」をとりあげ、各保幼小中で発達段階を踏まえて取り組んでいます。

● 各小学校でのあいさつ運動

〈各校での取り組みの特色〉

- ・勝間……毎日、学校生活を通してあいさつを啓発。「ありがとうの花」を掲示して賞賛・評価。
- ・上高瀬…月初めの1週間、児童会役員が中心となり展開。給食時に評価。地域のボランティアの会と連携。
- ・比地……毎日、朝のあいさつから帰りのあいさつまで、教師と児童が共に取組を展開。強調月間設定。
- ・二ノ宮…毎週木曜日の朝、児童会役員中心での取組。給食時に発表し、手作り表彰状を渡して評価。
- ・麻……毎朝、児童会役員が啓発。学期に1回「あいさつがんばり週間」を設定して評価。



【小学校でのあいさつ運動の様子と評価】

● 高瀬中学校でのあいさつ運動

毎朝7:30～7:50、部活動単位で正門に立ってあいさつ運動を展開し、伝統になっています。また、自分からあいさつした生徒に“OHAカード”を渡す「高中OHAリーダー」の取り組みも始めています。9月には「さぬきっ子あいさつ運動」にも参加し、「おはっぴー」の着ぐるみがやってきました。



【中学校でのあいさつ運動の様子】

高まり

〈成果〉

毎朝、各校正門付近はあいさつの声で活気に満ちています。また、校内では一日を通して、あいさつができる児童生徒が増えています。これからは、さらに子どもたちが家庭や地域に帰って自主的にあいさつを交わし、人とかかわることを大切にする子どもを育みたいと考えています。